

コントロール&入出力

BINARY IR CAB

USB:

ファームウェアのアップデート、アルゴリズムのロード&マネージメント用ミニ USB ジャック。

DC 9V:

DC 9V センターマイナス (200mA 以上)。

AUX:

1/4" (6.35mm) ステレオオーディオ入力

PHONES:

1/4" (6.35mm) ヘッドフォン用ステレオジャック

INPUT:

1/4" (6.35mm) モノ入力。

OUTPUT:

ミキサー、オーディオインターフェースへ接続する 1/4" (6.35mm) モノ出力。

VOL:
出力ボリューム

MIC POSITION X/Y/Z:
マイクポジションのシミュレーション。
X 軸: 横
Y 軸: 縦
Z 軸: 距離

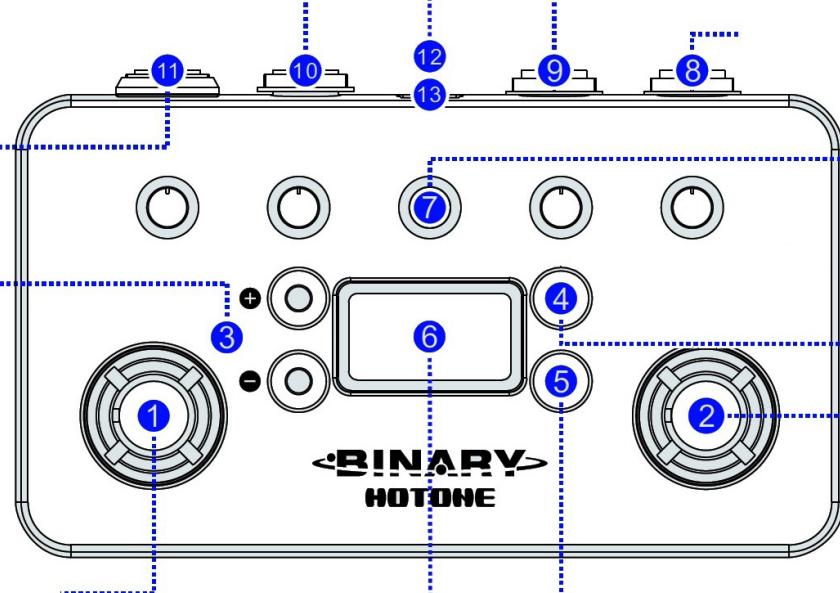
MIC TYPE:
マイクロфонの選択

SAVE/EXIT ボタン:
パラメーターチェンジの保存 / キャンセル

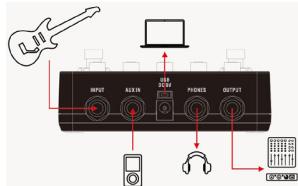
PATCH:
パンクが切り替わります。2つのスイッチ同時に押してバイパス(ミュート)します。

SAVE/EXIT ボタン:
パラメーターのセッティングを保存します。

白色 OLED ディスプレイ:
bank/patch ナンバー、セッティングパリュー、
その他の情報を表示します。



接続



ミキサー や オーディオインターフェースに接続する際は、出力ボリュームの操作に気をつけてください。出力レベルを操作して、ミキサー や オーディオインターフェースの入力段が歪まないようにしてください。

エディット

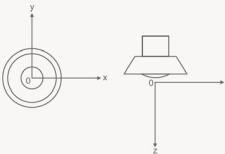
1. パラメーターの変更

本体の各コントロールノブでパラメーターが変更できます。ディスプレイに設定値が表示されます。



1 - 現在の設定値 (表示は vol / ボリューム)

2 - 保存されている設定値 (PREV. = Previous value / 前の設定値)



マイクポジションの X/Y コントロールは、水平 (X 軸) / 垂直 (Y 軸) の位置を決めます。X=Y=0 の設定はオンアキシス (傾き 0°)、Z がスピーカーからの距離です。マイクタイプは好みのモデルを選択できます。ミニマム設定はマイクのシミュレーションがオフになります。

2. キャビネットシミュレーションを選択する。

+/− ボタンを使用して他のキャビを選択します。



ディスプレイ表示は図のように反転し、現パッチがエディット状態であることを示します。

3. パワーアンプとルームのセッティング

GLOBAL ボタンを押してパワーアンプをエディットします。GLOBAL ボタンを繰り返しパワーアンプのタイプ、プレゼンス、ルームをエディットします。



+/− ボタンでパワーアンプのタイプ (オフ設定も可能) / パワーアンププレゼンス / ルーム (オフ設定も可能) を設定します。SAVE/EXIT ボタンを押し (又は、3秒以上操作しない)、セッティングを確認し完了します。注意: 変更したセッティングを保存する前にパッチを変更すると、『変更』は保存されません。

ディスプレイ

電源を接続するとディスプレイに下のような表示が現れます。



1 - 現在の bank/patch ナンバー

2 - 現在使用しているキャビネットのモデル

Patch/Bank の選択

△ / ▽ フットスイッチを操作するとパッチが変更できます。△ フットスイッチを押し続けると、パッチは 00, 01, 02, ..., 99, → 00 と順に変わります。▽ フットスイッチではその逆に順次変わっていきます。



保存

SAVE ボタンを押すと、以下のスクリーンが表示されます。



+/- ボタンで保存先を選択します。SAVE ボタンを押し保存を確認します。いずれかのフットスイッチを押すと、保存がキャンセルされてエディット状態へ戻ります。

バイパス / ミュート

両 ▽ / △ フットスイッチを同時に押します。

BYPASS

ミュート：フットスイッチを 2 秒以上ホールドし、MUTE が表示されたらスイッチを離します。

MUTE

両 ▽ / △ フットスイッチを同時に押すと、ノーマルに戻ります。バイパス / ミュート時はコントロールノブの LED が消えます。

Note: ミュート時でも Aux in の信号はミュートされません。

スペシフィケーション

エフェクト数：キャビ 100 種類、パワーアンプ 8 種類、マイク 10 種類

パッチ数：100

AD/DA : 24-bit A/D/A

IR ファイルフォーマット : 24-bit 48kHz

最大トラクションタイム : 20ms

周波数特性 : 20 Hz-20 kHz

S/N : Up to 110 dB

入力インピーダンス : 1M Ω

出力インピーダンス : 100 Ω

電源 : DC 9V センターマイナス

消費電流 : 200 mA 以上

サイズ : 121mm(D)x72mm(W)x47mm(H)

重量 : 340g

安全のために

ご使用になる前に、本機の性能をトラブルなく十分に発揮するため、以下の説明を必ずお読み下さい。

警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

・湿度の非常に高い場所

・砂やほこりが多い場所

・台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水の掛かり易い場所

・空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

【電源について】

本機は、DC9V アダプターをご利用下さい。

※ 9V 以上の電源は絶対に接続しないで下さい。

※ センターマイナス以外の極性の電源アダプターや、AC 電源を接続しないで下さい。

Binary Editor



ソフトウェアのダウンロード：

<http://allaccess.co.jp/hotone/binarycab/>

USBケーブルを使用してコンピューターと接続し、プリセット管理やパラメーター設定がPC (or Mac)上で行えます。

PC上で操作したプリセットはコンピューターに保存できます。それらのプリセットを本体へインポート／エクスポートも可能です。さらに、プリセットのエフェクト(モデル)の説明も表示されますので、エミュレーションのベースになった機種名、各コントロールの詳細が確認できます。

また、マイクのXYZも、ビジュアルで操作できますので、より直感的な設定が可能となります。

主な仕様

- XTOMP のテクノロジーを採用したファミリー・モデル
- コンパクトな 2 スイッチング機能付きアンプ・シミュレーター・ペダル
- HOTONE 独自の CDMC モデリングによるリアルなブレイング・エクスペリエンスを約束するエミュレーション
- デュアル DSP プラットフォームが導く高いサウンド・クオリティー
- 110dB S/N 比を実現した 24-bit A/D/A 変換
- 100 種類の IR キャビネット・シミュレーション
- 10 種の CDMC ベースのマイク・シミュレーション
- 3D(X,Y,Z) のマイク・ポジショニング設定 & ルーム・シミュレーション
- 8 種の CDMC ベースのパワーアンプ・シミュレーション w/ プレゼンス・コントロール
- Aux in & headphone out 装備
- 3rd パーティの IR ファイル使用可能
- 100 プリセット
- 白色 OLED ディスプレイを採用
- 5 LED 付きコントロールノブ
- 9V DC 電源駆動
- フームウェアのアップデート、アルゴリズムのロード & マネージメントが可能な Free PC/Mac ソフトウェア等が可能な USB ポートを装備。

エミュレーションのリスト

収録されているキャビネット、パワーアンプ、マイクのリストは、Web 上で PDF 公開しています。

下記よりダウンロード閲覧していただけます。

<http://allaccess.co.jp/hotone/binarycab/>

株式会社 HotoneJapan

お問い合わせ :

一般のお問い合わせ : ホームページ内の「お問い合わせ」ページよりご連絡ください。

商品の修理について : ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。